



## シャーシの開梱と取り付け



(注) この章の図は、特に指示がない限り参照専用です。シャーシの実際の外観とサイズは異なる場合があります。

- [シャーシの開梱 \(1 ページ\)](#)
- [下部支持レールの取り付け \(3 ページ\)](#)
- [シャーシの機械式リフト装置への移動 \(5 ページ\)](#)
- [ラックへのシャーシの取り付け \(6 ページ\)](#)
- [ケーブル管理ブラケットの取り付け \(12 ページ\)](#)
- [シャーシへの扉キットの取り付け \(13 ページ\)](#)

## シャーシの開梱



ヒント ルータコンポーネントを返品する必要がある場合に備え、梱包材は保存しておいてください。返品に関する詳細については、[不一致または損傷が見つかった場合](#)を参照してください。

シャーシパレットの周りに、開梱するのに十分なスペースがあることを確認します。シャーシの寸法とスペースの要件については、「[スペース要件](#)」を参照してください。

シャーシが含まれているパレットを開梱予定のステージングエリアに慎重に移動します。

図 1: シャーシパレットのステージングエリアへの移動

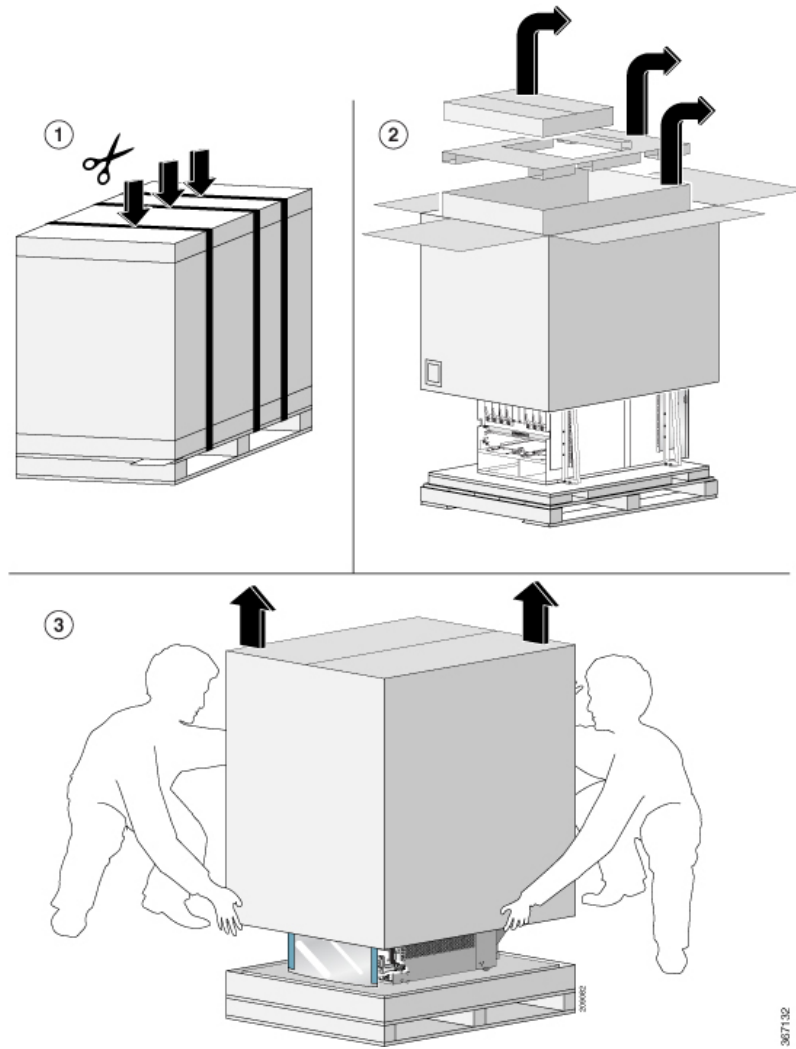
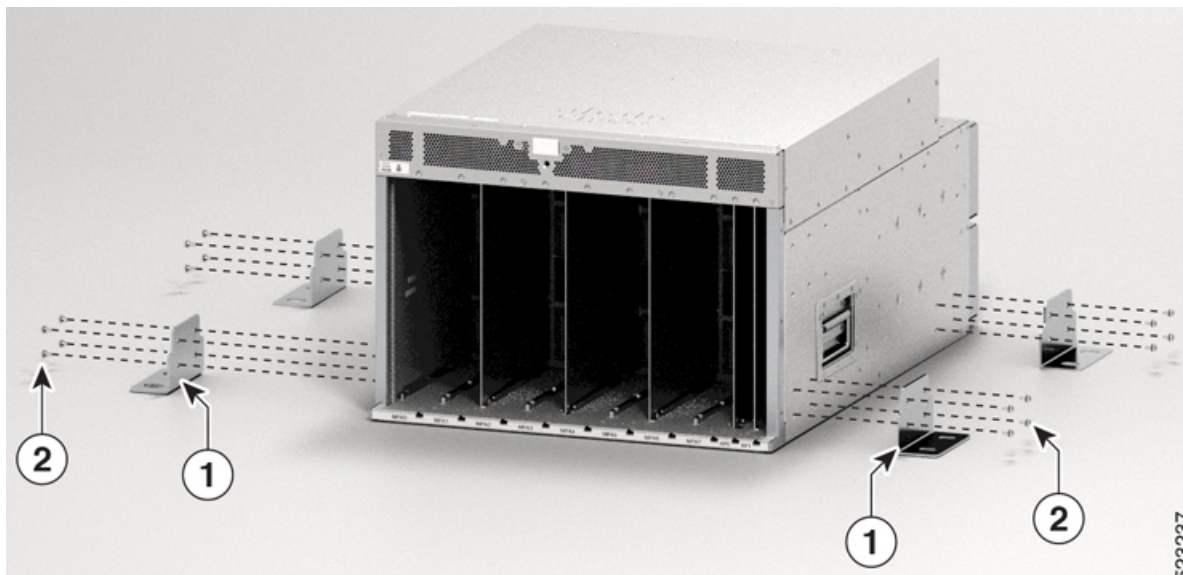


図 2: 8608 シャーシからの輸送用ブラケットの取り外し



1	輸送用ブラケット
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ (16 本)

8608 シャーシから M4 ネジ X 16 を取り外し、輸送用ブラケットを取り外します。

移動の際にシャーシの重量を軽くするため、次のモジュールを取り外し、コネクタが損傷しない場所に置きます。

- スイッチカード

ラックに移動して取り付ける準備が整うまで、シャーシをパレットの上に置いておきます。

次に行う作業：

シャーシへの下部支持レールの取り付け

## 下部支持レールの取り付け

下部支持レールは、ラックのルータのシャーシの重量を支えます。ラックを安定させるためには、ラック ユニット (RU) の最下部にこのレールを取り付ける必要があります。

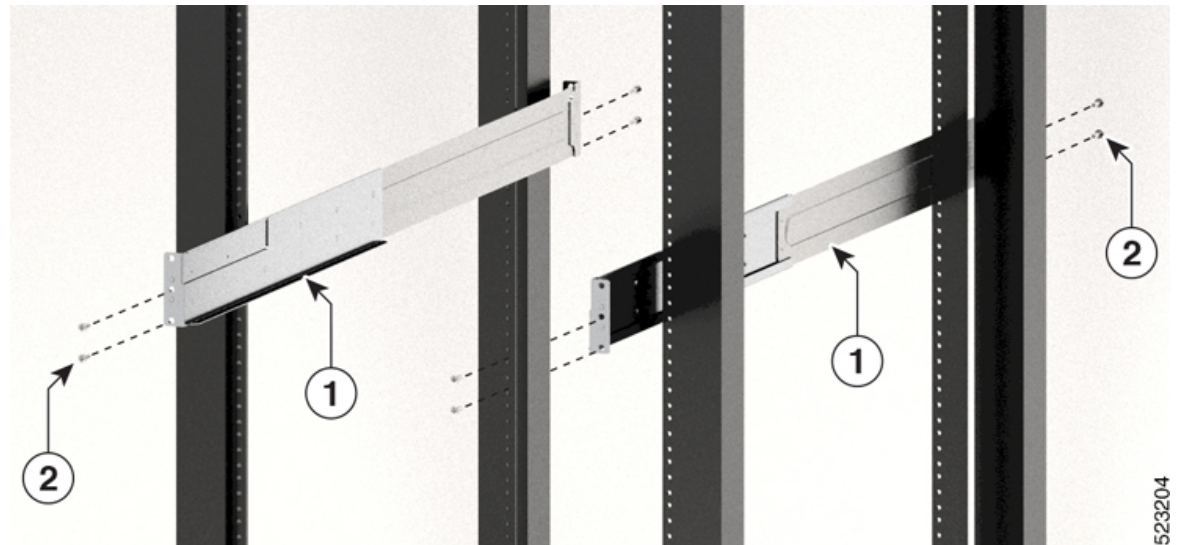
### 手順

- ステップ 1** 下部支持レールの長さに合わせて、垂直ラックレールを 32 インチの奥行きで配置します。次のスペースに関する考慮事項を確認してください。

- 8608 シャーシの場合は、支持レール上に 16 RU (71.12 cm (28 インチ)) 以上の垂直スペースを確保します。

**ステップ 2** プラستルクドライバを使用して、下部支持レールをラックに取り付けます。下部支持レールの両端に M6 X 19 mm または 12-24 X 3/4 インチのネジを使用し、各ネジを 40 インチポンド (4.5 N-m) のトルクで締めます。

図 3: ラックへの下部支持レールの取り付け



1	下部支持レール
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ (8 本)

(注) 各下部支持レールの両端にそれぞれ 2 本のネジを使用します。

**ステップ 3** ラックにもう 1 本の下部支持レールを取り付けるために、ステップ 1 および 2 を繰り返して行ってください。

(注) 2 本の下部支持レールが同じ高さであることを確認します。高さが異なる場合は、高いほうのレールを低いほうの高さに合わせます。

### 次のタスク

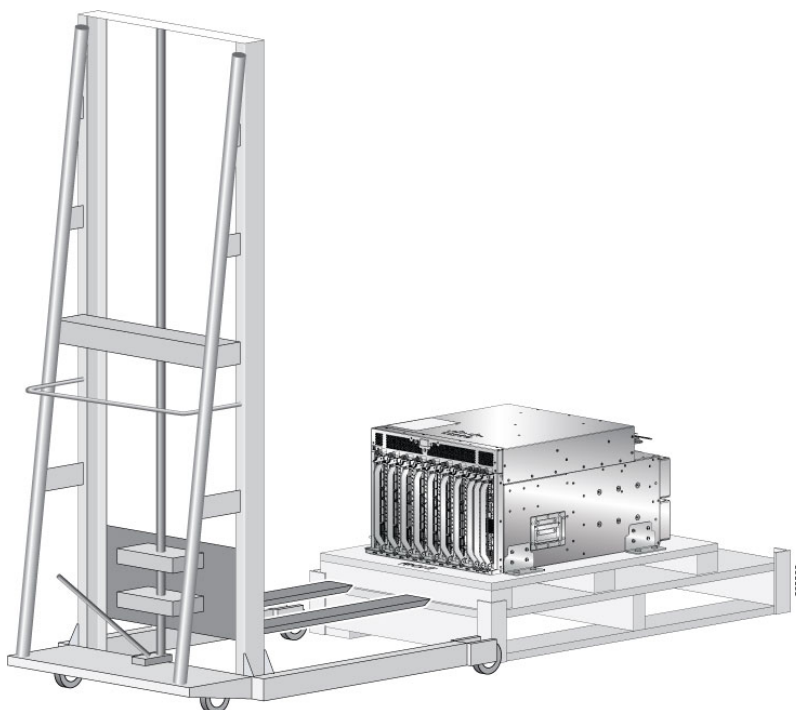
シャーシの機械式リフト装置への移動

## シャーシの機械式リフト装置への移動

### 手順

**ステップ1** 次に示すように、リフト装置をパレット（ラインカード側）上のシャーシの前に置きます。

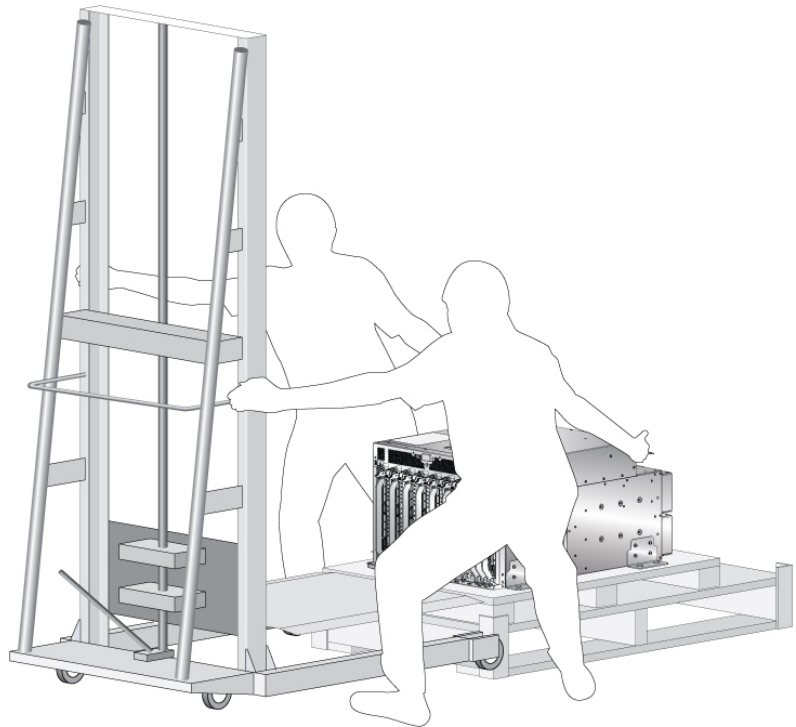
図4: リフト装置をパレット上のシャーシの前に配置



**ステップ2** （傷がつかないように）リフトの表面に厚紙を1枚取り付け、機械式リフト装置を使用する準備をします。

**ステップ3** 次に示すように、少なくとも2～3人の人員で、シャーシをパレットからリフト装置に慎重に移動します。

図 5: リフト装置へのシャーシの移動



### 次のタスク

シャーシを設置場所に移動した後、シャーシをラックに取り付ける手順を開始します。

## ラックへのシャーシの取り付け

この項では、4支柱ラックにルータを設置する方法について説明します。

次の表に、ラックマウントキットに含まれる品目を示します。

表 1: ラックマウントキット (8608-RMBRKT)

数量	部品
8	ラックマウントブラケット
20	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
1	アースラグおよびネジ

取り付け穴のパターンが異なる装置ラックに対応するために、シャーシ取り付けブラケットには両側にネジ穴のグループがあります。シャーシ取り付けブラケットの取り付け穴は、各穴グループの1つの取り付け穴が装置ラックの対応する穴と一致するように間隔が空けられています。シャーシの反対側の対応する取り付け穴（同じ穴グループ）を使用して、シャーシをラック内で水平にすることができます。



- (注) シャーシを持ち上げるには、リフトを使用します。シャーシの側面にあるハンドルを使用しないでください。側面のハンドルは、リフトまたはラックかキャビネットにシャーシを載せた後で、シャーシの位置を調整するためにのみ使用します。



**警告** ステートメント 1032 - シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルには、ユニットの重量を支える強度はありません。



**警告** ステートメント 1098—シャーシの持ち上げ

製品の重い部分を持ち上げるには、2人の人員が必要です。けがをしないように、背中ではなく足に力を入れて持ち上げます。



**警告** ステートメント 1006 - ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

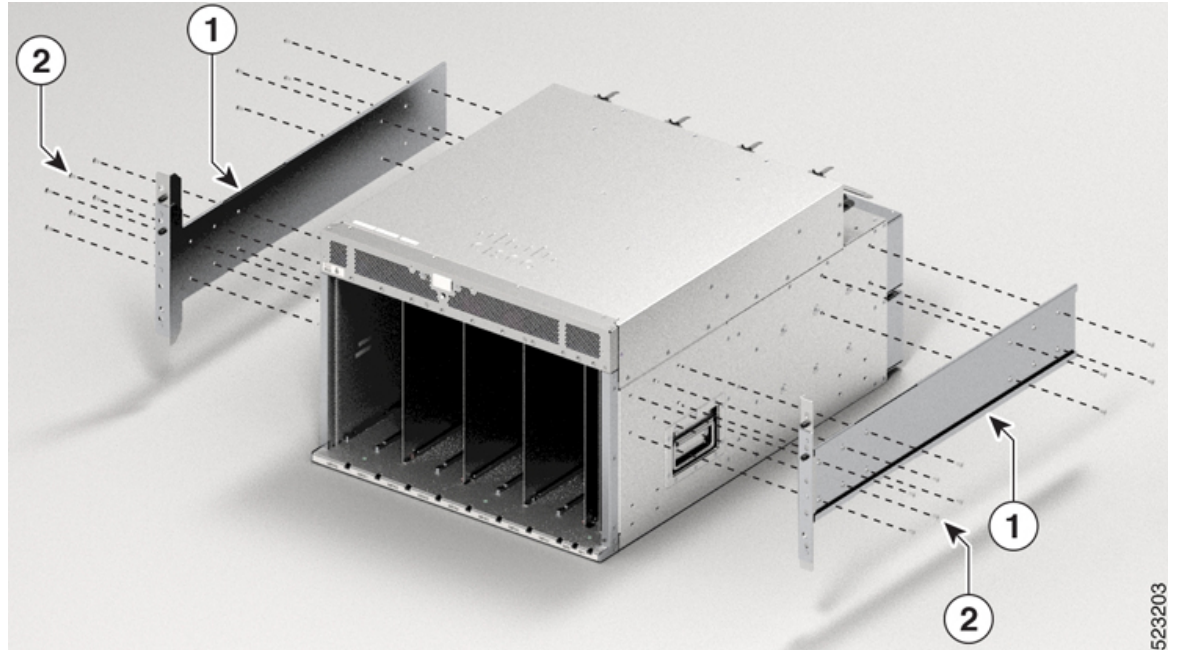


- (注) ラックマウントブラケットをスライドレールとして使用しないでください。ラックマウントブラケットを固定する必要があるのは、シャーシの取り外しおよび交換の場合だけです。

## 手順

**ステップ1** シャーシの左右に L 字金具を取り付けます。M4 X 6 mm プラス皿ネジを使用して、26 インチポンド (2.93 N-m) のトルクで L 字金具をシャーシに固定します。

図 6: シャーシの側面への L 字金具の取り付け



1	L 字金具
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ

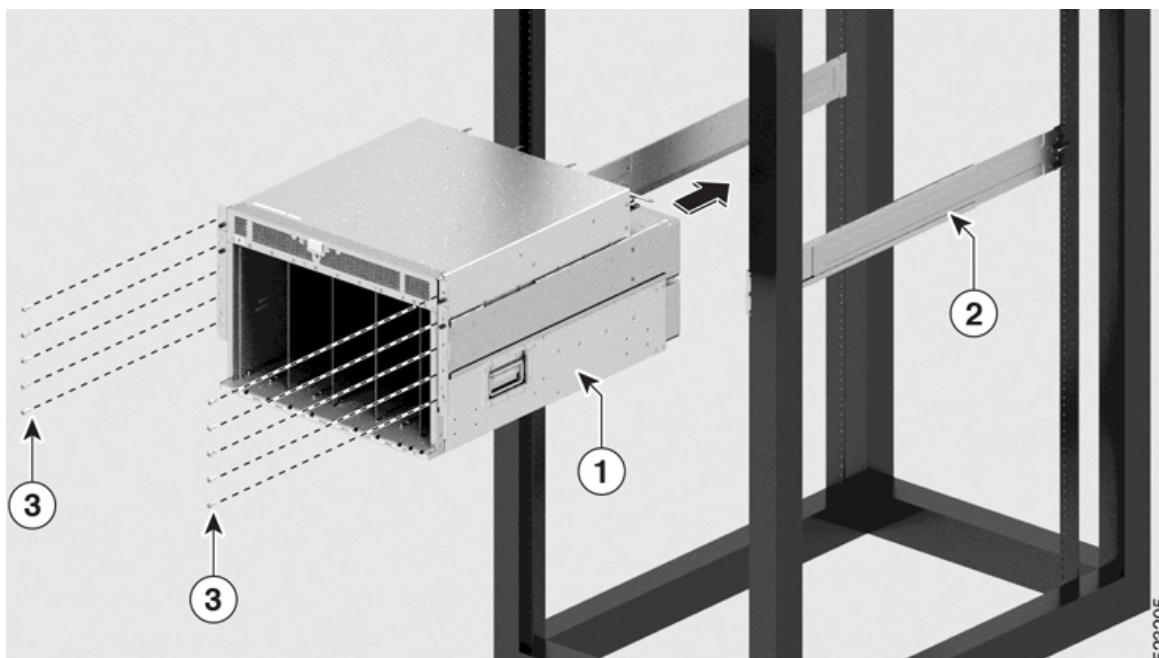
**ステップ2** リフトを使用して、シャーシがレールから 0.635 cm (1/4 インチ) 以下の高さになるように持ち上げます。

**ステップ3** シャーシの前面の垂直取り付けブラケットがラックの垂直取り付けレールに触れるまでシャーシをラックに完全に押し込みます。

**ステップ4** ラックに付属のネジを使用して、ラックの垂直取り付けレールでシャーシを固定します。前面に 12 本のネジ、背面に 8 本のネジを使用して、シャーシをラックマウントに固定します。



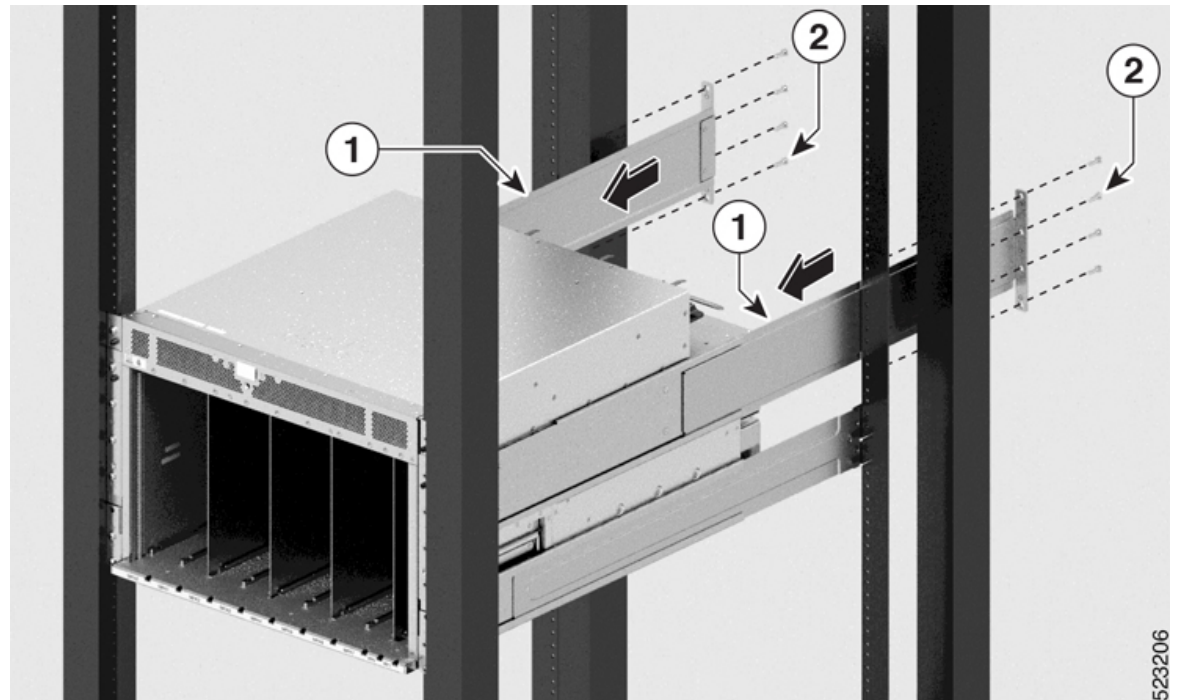
図 7:ラックへの 8608 シャーシの取り付け (正面図)



1	シャーシ	2	下部レール
3	M4 X 6 mm プラス皿ネジ (10 本)		

**ステップ 5** ラックに付属のネジを使用して、シャーシの背面レールを取り付けます。シャーシ外側からネジを取り付け、各ネジを 26 インチポンド (2.93 N-m) のトルクで締めます。シャーシの各側面に 4 本のネジを使用します。シャーシに取り付けられている L 字金具に背面ブラケットをスライドさせます。

図 8: ラックへの 8608 シャーシの取り付け (背面図)



1	背面ラックマウントブラケット	2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ (8 本)
---	----------------	---	------------------------

### 次のタスク

シャーシを施設のアースに接続します。

## シャーシの設置と接地



### 警告 ステートメント 1024 - アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

### 手順

**ステップ 1** ルータ シャーシのシャーシ接地レセプタクルの位置を確認します。

レセプタクルの位置は次のとおりです。

- 左側のパネルの背面方向の下部

**ステップ2** ワイヤストリッパを使用して、2-AWG ワイヤの一端の被覆を約 19.05 mm (0.75 インチ) 取り除きます。

**ステップ3** 2-AWG ワイヤを接地ラグのワイヤレセプタクルに差し込みます。

図 9: Cisco 8608 シャーシのシャーシ接地レセプタクル



1	接地位置の確認	2	ラグ穴の位置を合わせ、ネジを締めます。
---	---------	---	---------------------

**ステップ4** 圧着工具を使用して、慎重にワイヤレセプタクルをアース線に圧着します。これは、アース線を実際にレセプタクルに接続するために必要な手順です。

**ステップ5** 接地ラグの穴に2つのネジを差し込みます。接地ラグが他のルータハードウェアのコンポーネントの妨げにならないようにしてください。

**ステップ6** プラスドライバを使用して、接地ラグがシャーシにしっかりと固定されるまで、慎重にネジを60 インチポンド 6.7 (N-m) のトルクまで締めます。ネジをきつく締めすぎないようにしてください。

**ステップ7** アース線の反対側の端を設置場所の適切なアース設備に接続し、シャーシが十分に接地されるようにします。

#### 次のタスク

ケーブル管理ブラケットを取り付けます。

# ケーブル管理ブラケットの取り付け

ケーブル管理ブラケットを取り付けるには、次の手順を実行します。



- 
- (注)
- この手順は、Cisco 8608 シャーシに適用されます。
  - Cisco 8608 シャーシのケーブル管理ブラケットは、光ケーブルのみをサポートしています。
- 

## 始める前に

シャーシをラックに取り付け、固定する必要があります。

必要な工具と部品：

- トルク機能付きプラスドライバ（お客様側で準備）
- ケーブル管理ブラケット（8608-CBLMGMT）



- 
- (注)
- ケーブル管理ブラケットは、シャーシに同梱されています。
  - ケーブル管理ブラケットには、上部フードが付属しています。
- 

## 手順

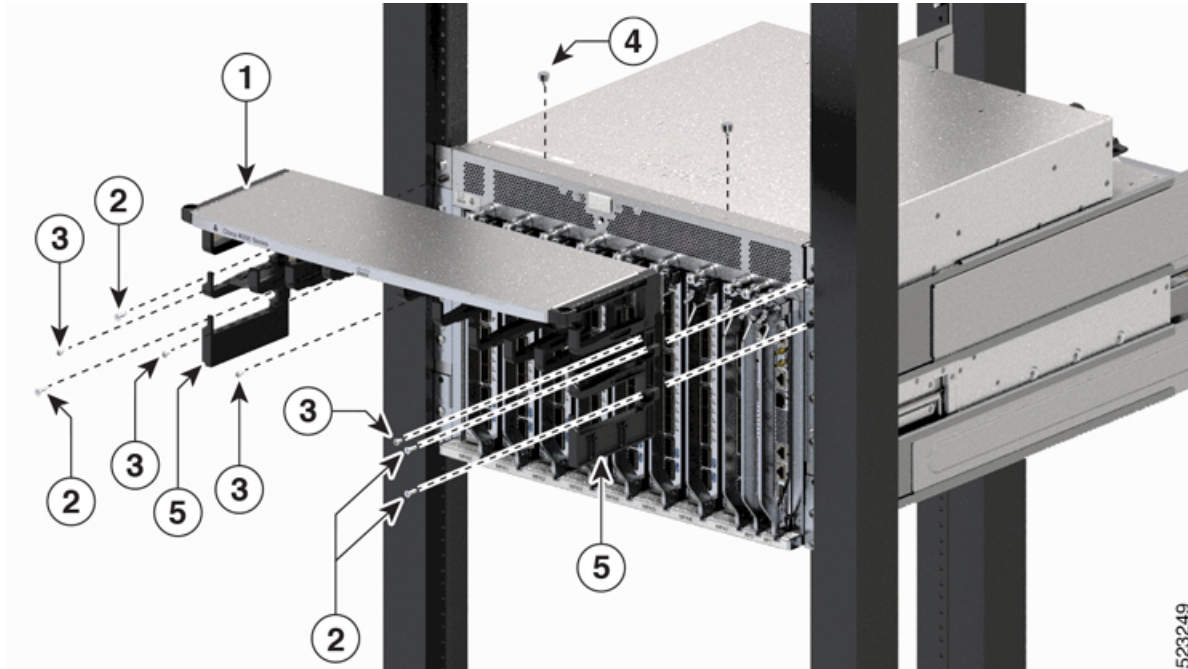
---

**ステップ1** シャーシの上部にガイドピンを挿入します。

**ステップ2** ブラケットを下向きにして、ケーブル管理アセンブリの上部フードを配置します。

**ステップ3** 上部フードとシャーシの位置合わせが完了したら、皿ネジと M4 X 18 mm ネジで固定します。

図 10: 8608 シャーシのケーブル管理ブラケット



1	上部フード。上部フードとケーブル管理ブラケットは1つのユニットです。	2	さらネジ
3	M4 X 18 mm プラス皿ネジ	4	ガイドピン
5	ケーブル管理ブラケット。上部フードとケーブル管理ブラケットは1つのユニットです。		

### 次のタスク

シャーシに扉キットを取り付けます。

## シャーシへの扉キットの取り付け

### 始める前に

前面扉をシャーシに取り付ける前に、ケーブル管理ブラケットおよび下部プレートをシャーシに取り付ける必要があります。

必要な工具と部品：

- トルク機能付きプラスドライバー（お客様側で準備）
- 扉キット（8608-DRKT）

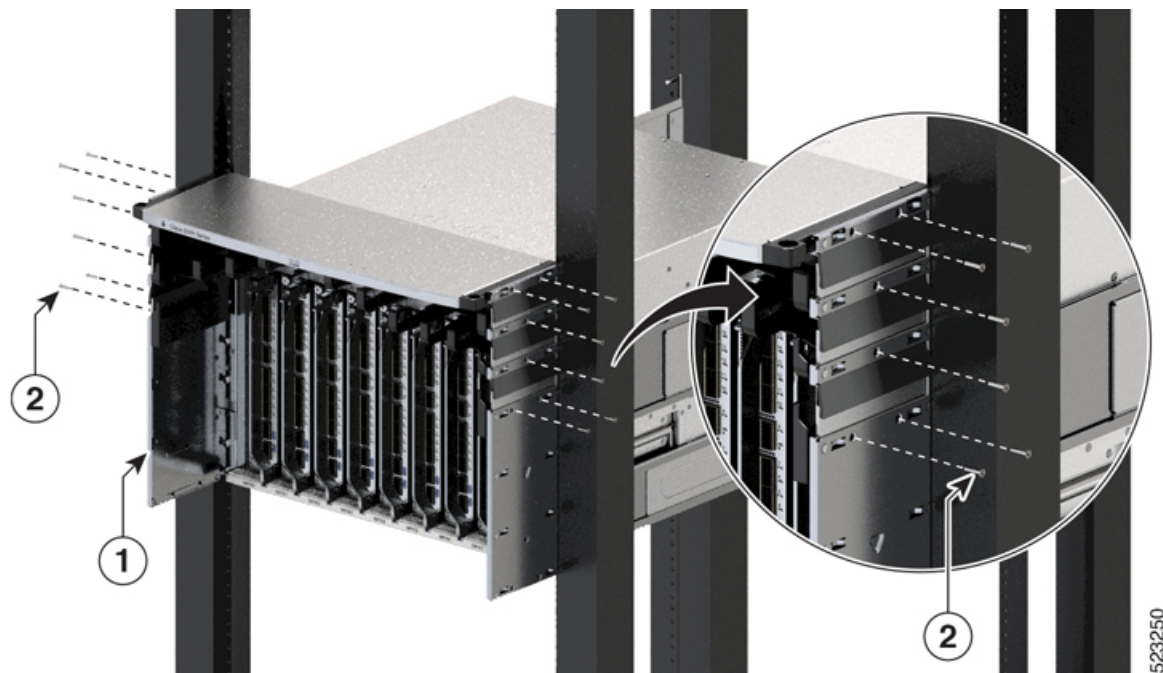


(注) ドアキットはオプションです。

### 手順

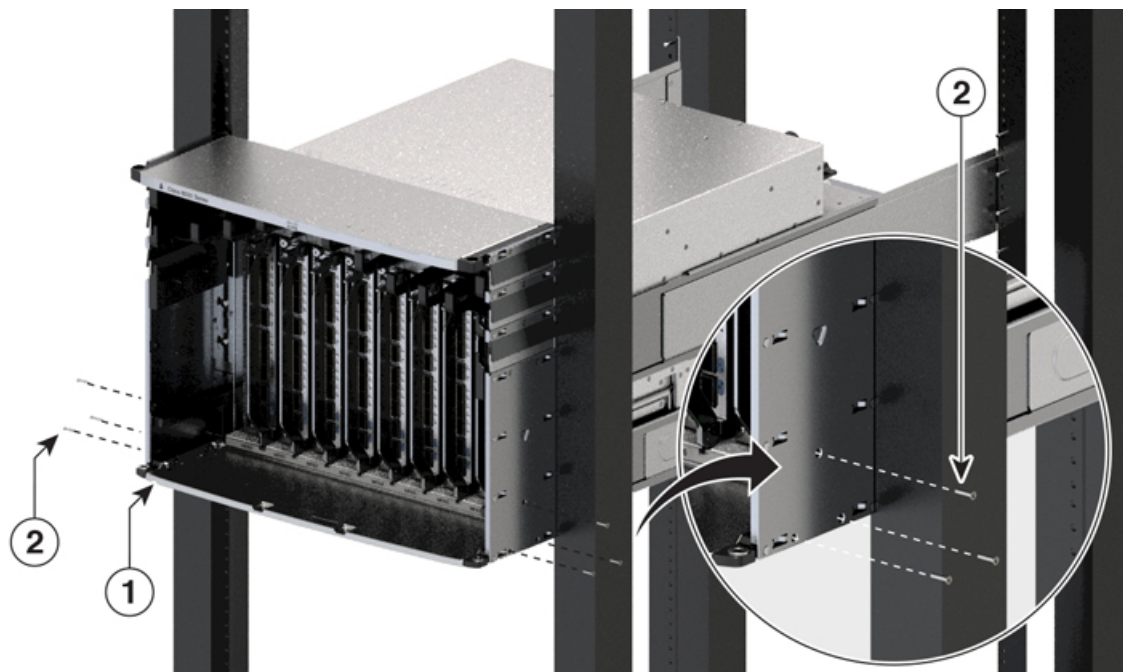
**ステップ1** ケーブル管理ブラケットをシャーシに取り付けたら、左右の扉ブラケットをプラス皿ネジ、M4 X 18 mm ネジでシャーシの垂直取り付けブラケットに固定します（キットに付属のすべてのネジを使用）。上部に1本、下部に1本のネジを挿入します。同様にこの順序でネジを追加します。ネジの数は、シャーシによって異なる場合があります。

図 11: 左右の扉ブラケットの固定



**ステップ2** ブラケットを上向きにして、下部カバーを扉ブラケットネジ穴の2つの側面（左右）の下部に合わせます。

図 12: 8608 シャーシの下部カバー



1	下部カバー
2	M4 X 6 mm プラスなベネジ

**ステップ3** 4本の M4 X 6 mm プラスなベネジを使用して、扉ブラケットに下部カバーを固定します。11.5 ~ 15 インチポンド (1.3 ~ 1.7 Nm) のトルクで締めます。

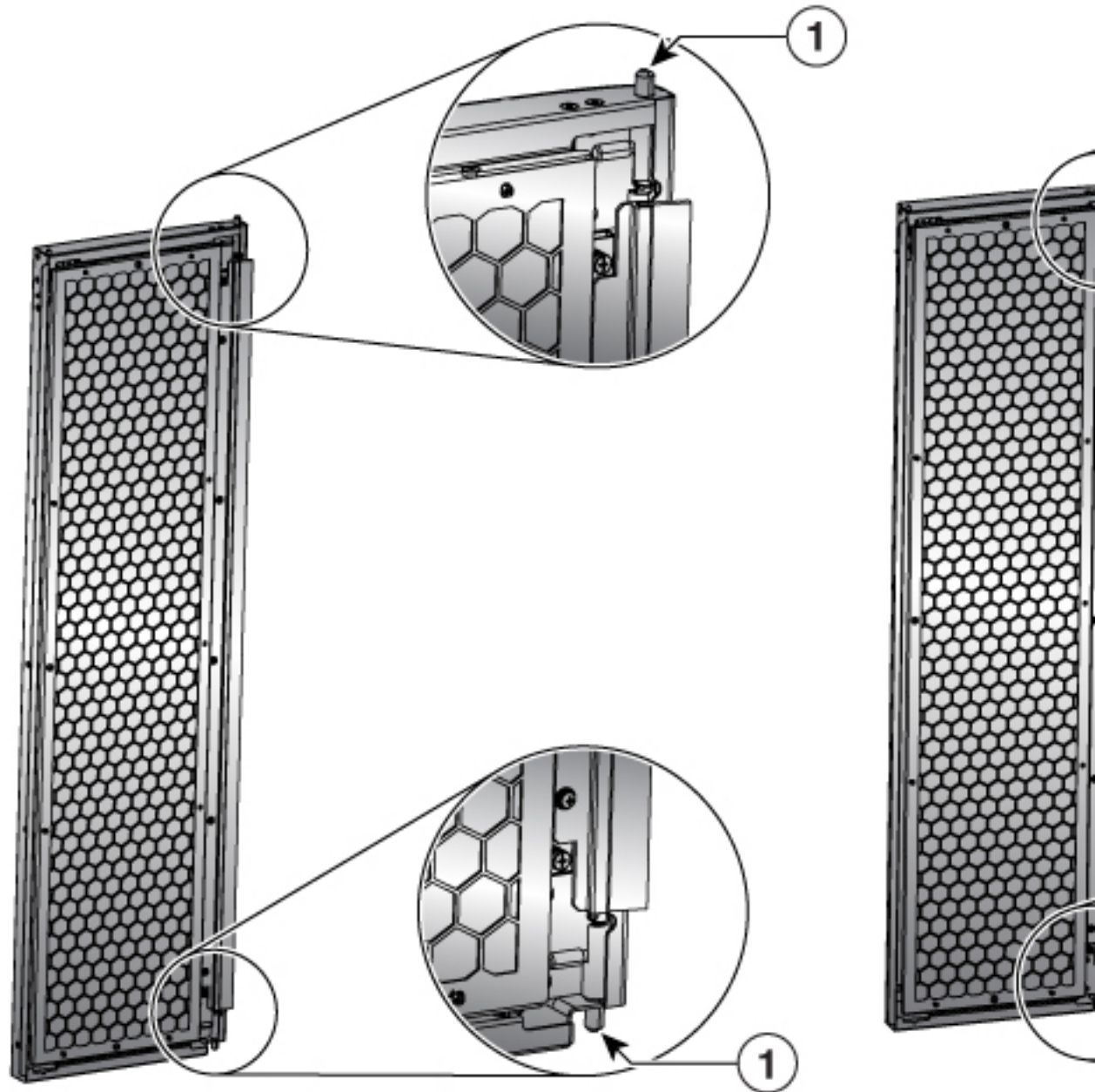
**ステップ4** 下部カバーの取り付けが完了したら、扉ブラケットのネジを 11.5 ~ 15 インチポンド (1.3 ~ 1.7 Nm) のトルクで締めます。

## シャーシへの前面扉の取り付け

### 手順

**ステップ1** 一方の扉の後ろ側（開いている側）で、突き出している2つのスプリングピンを引き込んで扉フレーム内に格納します（次の図を参照）。

図 13: 前面扉のピン

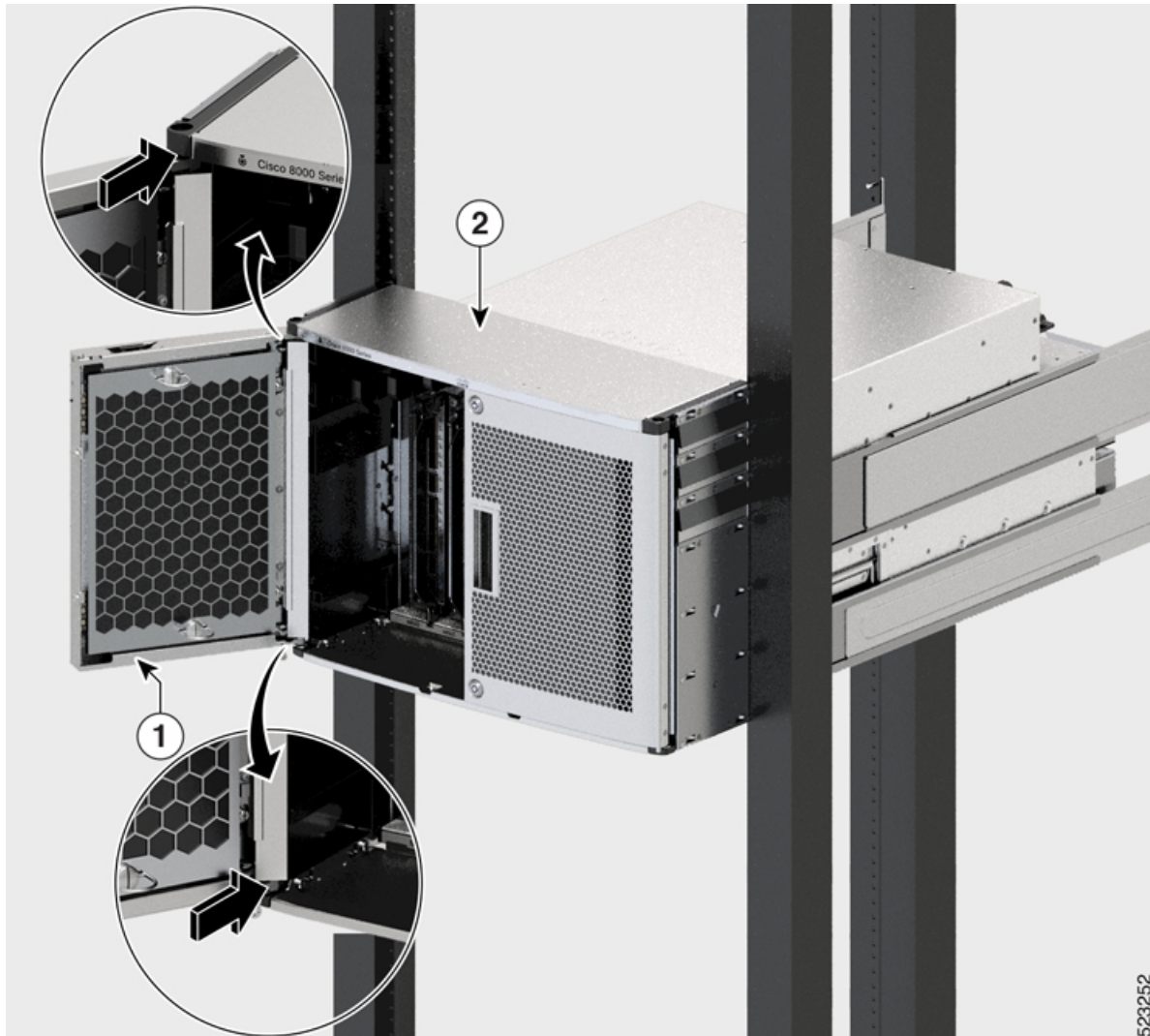


1	前面扉のスプリングピン
---	-------------



- ステップ2 スプリングピンを下部プレートに穴に合わせてリリースし、下部の穴に挿入できるようにします。
- ステップ3 ここで、スプリングピンを上部フードの穴に合わせてリリースします。
- ステップ4 ドアがスプリングピンで自由に回転できるように、ピンが穴に正しく挿入されていることを確認します。

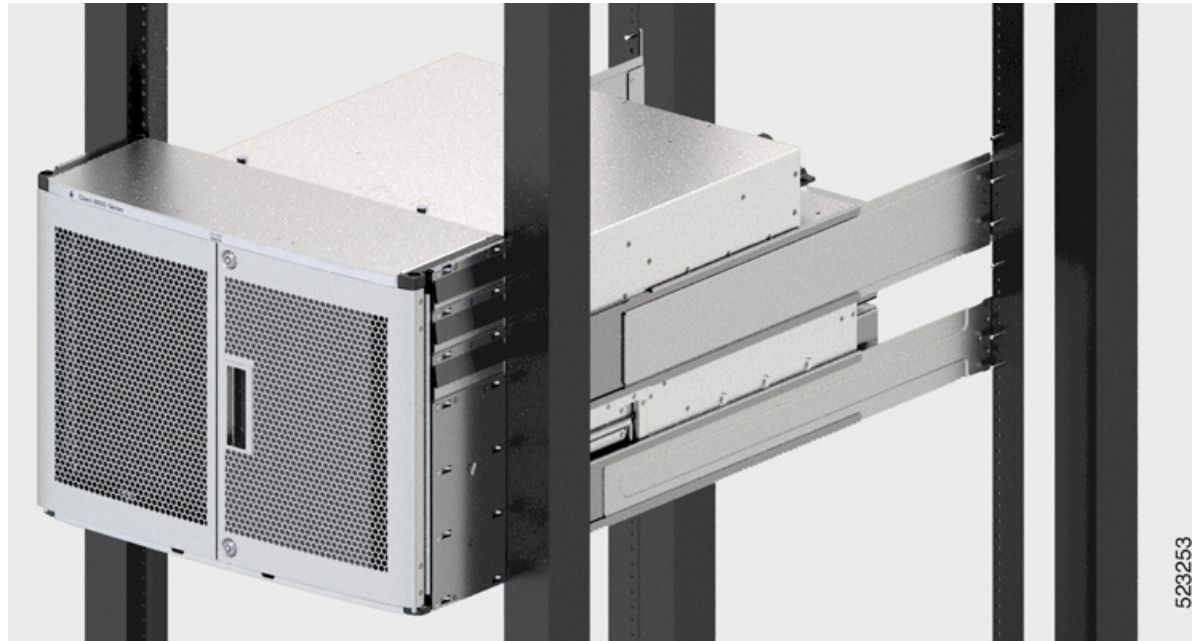
図 14: 8608 シャーシに取り付けられた前面扉



1	前面扉	2	フード
---	-----	---	-----

- ステップ5 他の前面扉を取り付けるには、ステップ2～5を繰り返します。

図 15: シャーシに取り付けられた扉



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。